

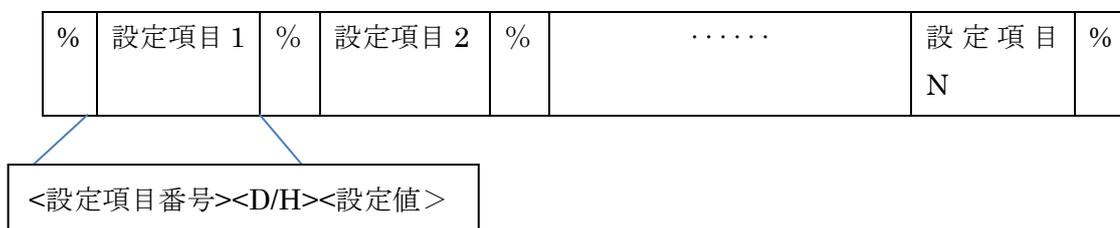
◆MD701 出力文字の編集

1.方式一：カスタマイズ QR コード設定（完全版マニュアル p9）→オススメ！

以下の設定用 QR コードの作成ルールに基づき、複数の設定内容を一つの QR コードに反映することは可能です。完成した QR コードをスキャンすることで、設定内容を反映できます。

※一部の FW（2016 年以前）はカスタマイズ QR コード設定機能に対応してない場合がございます。

A. 設定用 QR コードの作成ルール



説明：

<設定項目番号>とは、設定項目ごとに 0～9 から 4 桁の数字の組合せ

<D/H>：設定値の内容が 10 進数の場合は D に指定して下さい。

設定値の内容が 16 進数の場合は H に指定して下さい。

<設定値>とはキャラクターコードのことです、長さは 2,4 或いはその他の値、設定項目の内容によって変わります。

「0」～「9」の数字バーコード・「A」～「E」のアルファベットコードは P112、P113 を参照してください。

例：

設定したい項目：

1.スキャンモードを常時照射に変更：0401->03(10 進数)（完全版マニュアル p18)

2.読み取られるバーコードの末尾に CR(改行)を付加したい：8002->0D0A(16 進数)；
8202->01(10 進数) (完全版マニュアル p 85)

QR コード作成ルール：`%0401D03%8002H0D0A%8202D01%`



B. QR コード作成の注意事項

QR コードを作成の際は、モデル 2 (Model : M2) に指定して下さい。

※モデル 2 は、モデル 1 を改良し、最大バージョンは 40(177*177 セル)で数字 7089 桁まで扱うことができるコードです。現在、QR コードと言うと、一般的にはモデル 2 を指します。

QR コードの構成において、ECC、スタート・ストップに関する制限はございません。

2.方式二：マルチスキャン設定 (完全版マニュアル p8)

※注意：MD701 のデフォルト照射はハンズフリーモードのため、37-1～37-6 のマルチスキャン設定を行う際は、MD701 底面にある黄色い丸いボタンを押しながら設定をしてください。

37-1 先頭に文字を付加する

読み取ったバーコードの先頭に文字を付加できます。

例: 「A」を挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	A 123456

1. 設定開始を読取ります。



%8001M%

2. 付加する文字を設定します。

「A」 付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにございます。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H L		0	1	0	1
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード





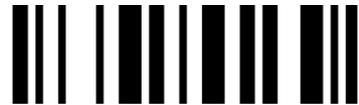
3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
上から順にコードを読取ります。



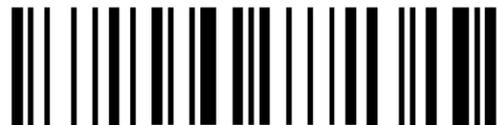
%8201M%



0



1



%END%

5. 下記のテストコードを読取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



123456

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード





3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



4. 設定したコードの送信を有効にします。
上から順にコードを読取ります。





0



1



%END%

5. 下記のテストコードを読み取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



123456

37-3 文字を任意の位置に挿入する

読み取ったバーコードの指定した桁の間に文字の挿入が可能です。

例: 「AB」を2文字目の後に挿入する

元のデータ	123456
設定後の出力データ	12 AB 3456

1. 設定開始を読取ります。



%8005M%

2. 挿入する文字を設定します。

「A」付加する場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

「AB」と2文字付加する場合は「4」→「1」→「4」→「2」と続けて付加します。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
H		0	1	0	1
L					
0		Null		NUL	DLE
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H	2	3	4	5	6	7
L						
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード





3. 文字の確定 (%END%) を読取ります。



4. 挿入位置を指定します。

設定開始 (%8101M%) を読取ります。



5. 挿入する桁を指定します。

2桁目のコードの後に挿入する場合は「0」→「2」を読取ります。



%END%

6. 下記を読み取り、これらの設定を有効にします。



7. 下記のテストコードを読み取り、付加した文字が送信されることをご確認下さい。



37-4 文字を別の文字に置き換える。(置換機能)

指定したバーコードに含まれる文字を別の文字に置き換えることができます。

置き換えパターンは2パターンまで登録が可能です。

例: 「A」を「B」に置き換える設定を行った場合

元のデータ	123 A5A
設定後の出力データ	123 B5B

1. 置き換え文字の登録を行います。

初めて登録する場合はパターン1、追加で登録する場合はパターン2の読取りを行います。

パターン1



%8014M%

パターン2



%8015M%

2. 置き換えたい文字を選択して設定します。

「A」を別の文字にする場合は「4」→「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

H L	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
a	6→1

◆数字コード





3. どの文字に置き換えるかを設定します。

設定した文字を「B」に文字を置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにございます。

L \ H	USB(HID)		RS-232C VCOM	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

H \ L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
付加無し	0→0
スペースキー	2→0
A	4→1
A	6→1

◆数字コード





- 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

- 実際にコードを読み取って動作を確認して下さい。

37-5 文字を別の文字に置き換える。(置換機能・複数)

複数の文字の置き換えが可能です。(11文字まで)

例: 「A」 → 「B」 「C」 → 「D」 「E」 → 「F」と設定した場合

元のデータ	123 A 4 C 5 6 E 78
設定後の出力データ	123 B 4 E 5 6 F 78

1. 設定開始 (%8016M%) を読取ります。



2. 置き換え元になる文字を1文字、設定します。

「A」を別の文字に置き換える場合は「4」 → 「1」の順に読取りを行います。

※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
L	H	0	1	0	1
	0		Null		NUL
1		Up	F1	SOH	DC1
2		Down	F2	STX	DC2
3		Left	F3	ETX	DC3
4		Right	F4	EOT	DC4
5		PgUp	F5	ENQ	NAK
6		PgDn	F6	ACK	SYN
7			F7	BEL	ETB
8		Bs	F8	BS	CAN
9		Tab	F9	HT	EM
A			F10	LF	SUB
B		Home	Esc	VT	ESC
C		End	F11	FF	FS
D		Enter	F12	CR	GS
E		Insert	Ctrl+	SO	RS
F		Delete	Alt+	SI	US

H	2	3	4	5	6	7
L						
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード





8



A



C



E



7



9



B



D



F

3. 置き換え後になる文字を1文字、設定します。
設定した文字を「B」に置き換える場合は「4」→「2」の順に読取りを行います。
※数字コードは次ページにあります。

		USB(HID)		RS-232C VCOM	
		0	1	0	1
H	L				
	0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1	
2	Down	F2	STX	DC2	
3	Left	F3	ETX	DC3	
4	Right	F4	EOT	DC4	
5	PgUp	F5	ENQ	NAK	
6	PgDn	F6	ACK	SYN	
7		F7	BEL	ETB	
8	Bs	F8	BS	CAN	
9	Tab	F9	HT	EM	
A		F10	LF	SUB	
B	Home	Esc	VT	ESC	
C	End	F11	FF	FS	
D	Enter	F12	CR	GS	
E	Insert	Ctrl+	SO	RS	
F	Delete	Alt+	SI	US	

H	2	3	4	5	6	7
L						
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	“	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	‘	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	\	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

◆例：付加記号

付加記号	順番
Enter キー	0→D
TAB キー	0→9
無し	0→0
スペースキー	2→0

◆数字コード





4. 上記で 1 文字が別の文字に置き換わります。
続けて変更する文字を登録する場合は項目 2 (P98) まで戻ります。
設定を完了する場合は下記に進みます。

5. 最後に下記の「%END%」を読み取って設定完了です。



%END%

37-6 先頭又は末尾から文字を抜き出す

先頭、又は末尾から文字を抜き出すことができます。

※両方の設定は出来ません。

※文字の間を抜き出しは出来ません。

1.先頭、末尾どちらから文字を抜き出すかを選択します。

マルチスキャン設定	内容
 %8211M%	先頭から
 %8212M%	末尾から

2.P113 より桁数を設定します。

例：先頭より9桁抜き出す場合は「0」→「9」と設定します。

※1～99文字まで設定可能です。

3.最後に設定完了を読み取って設定完了です。

